

女性研究者 研究成果発表会

〜〜ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)〜〜
山形大学・大日本印刷株式会社研究開発センター・山形県立米沢栄養大学 3機関合同企画

◆◆◆◆ プログラム ◆◆◆◆

日時：平成28年8月7日(日) 13:30～15:30

場所：山形県立米沢栄養大学D301教室

【発表会】13:30～14:30

●印刷と研究の話

山形大学工学部有機エレクトロニクス研究センター
産学連携准教授 泉 小波

●減塩ソーセージの開発と学校給食への導入の取り組み

山形県立米沢栄養大学 講師 山口 光枝

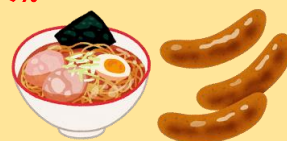
●「米沢らーめん」塩分濃度調査結果と「減塩醤油スープ」の開発

山形県立米沢栄養大学 准教授 金光 秀子

【試食会】14:35～15:00

●「減塩らーめん」と「減塩ソーセージ」の試食

※当日は、「フレンチタイプのソーセージ」と「減塩らーめん」を試食していただく予定です(100食限定となっております。受付時に試食券をお渡しいたします)。



★ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)とは？

●ダイバーシティの基本概念は、

- ・個々人の「違い」を尊重し受け入れる
- ・「違い」に価値を見つける
- ・職務に関係のない特質を無視し、個人の、成果、能力、貢献だけを考慮する
- ・「違い」に係わらず、組織に平等に参加させ、能力を最大限発揮させる

これらを実行することにより、「組織のパフォーマンスを向上させること」がダイバーシティの目的です。

- この事業では、研究環境のダイバーシティを高めることにより優れた研究成果の創出につなげるために、大学や研究機関、企業、地域等のそれぞれの特色を踏まえることを重点にしています。特に、女性研究者の活躍促進に向けて、組織全体で目標・行動計画を作り、女性研究者自身が積極的に研究活動を推進し、研究力を高めることができるような研究環境の整備などに取り組んでいます。

※「連携型」：大学や研究機関、企業等が連携した取組みを支援します。

山形県をはじめとする
東北地方全体で減塩活
動を盛り上げていきま
しょう！



キレイの秘訣は

753



山形県立米沢栄養大学
山形県減塩食育プロジェクト
山形県は食塩摂取量が全国で
3番目に多い県なのです。
20〜30歳の野菜・果物の摂取量が
不足しているんです。



- 今食べている量より
- ① 野菜を70g多く食べましょう！
 - ② 果物を50g多く食べましょう！
 - ③ 食塩を3g減らしましょう！